

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成25年4月)

平成25年4月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4 ~ H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24 ~ H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31 ~ H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18 ~ H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (3月末現在)

3月	0.0%
24年度累計	0.0%
運転開始後累計	60.1%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (3月末現在)

3月	0
24年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H24年度第3四半期)

当期発生本数	765
貯蔵庫累積貯蔵本数	32,351
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H24年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (4月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	879	1,974	59%
	刈羽村	87	167	5%
	その他	118	871	20%
	小計	1,084	3,012	85%
県外		99	643	15%
合計		1,183	3,655 (2,969※)	-
		4,838		100%
協力企業社数(社)		574		

※4月1日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (3月末現在)

	3月	年度累計
地元	1,217	9,461
県内	664	8,178
県外	529	9,248
国外	6	326
合計	2,416	27,213

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
4月25日	定例の記者説明会
5月9日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	3月22日	4号機	残留熱除去系電動弁の不具合について（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の4号機において、平成25年3月22日、残留熱除去系（A）の定例試験を実施していたところ、試験用流量調整弁（電動弁）1台を全閉から開操作中に当該弁の開動作ができなくなる事象を確認しました。このため、当該弁を手動で全閉状態にするとともに、当該系統のポンプを停止し、定例試験を中止しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 現在4号機の原子炉に燃料は装荷されておらず、全燃料は使用済燃料プールに保管されております。そのため残留熱除去系の保安規定上の要求はありません。本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 今後、当該弁が開動作できなくなった原因について調査を実施してまいります。</p>
②	4月3日	5号機	使用済燃料プールにおける物品の確認について（区分その他）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の5号機において、平成25年4月2日、当社社員が使用済燃料プール内の定例確認を行っていたところ、使用済燃料プールの底面に四角状の物品を確認いたしました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 物品はゴムらしき様相をしていることから、当該プールに保管されている使用済燃料の安全性に影響を与えるものではないと判断しております。</p> <p>（対応状況） <u>4月9日に、当該物品を回収した結果、ゴムマット（縦約23cm×横約23cm×厚さ約1cm）であることを確認しました。</u>引き続き原因調査を進めてまいります。 当社は、従前より異物混入防止対策に取り組んでおり、引き続き厳正管理に努めてまいります。</p>